

バングラデシュにおける病院（Apollo 病院）の検体検査事業周辺情報

検査室運営の参考として、**バングラデシュで唯一国際医療基準のJCI を取得しているApollo 病院**を参考にする。JCI 認証のためには検体検査前の品質管理（患者ID や検体の取扱）、検査時の品質管理（機材管理、内部精度管理・外部精度管理など）、検査後の品質管理（HIS への検査結果保存）が挙げられる。

Apollo 病院では、外部精度管理として国内ではBangabandhu Sheikh Mujib Medical University and AFIP と、国外ではBio-Rad 社と実施している。検査機器はシスメックス製の多項目自動血球分析装置、ロシュ製の生化学分析装置、免疫検査装置が導入されている等、日本の総合病院と同程度の設備となっている。

検査は24 時間365 日体制で受け付けられているが、検査数は血球検査数が一日あたり約400 程度であり、日本の同程度の病床数の病院と比較すると約1/3 程度である。